

会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通活性化協議会
事務局	都市整備部交通対策課
開催日時	令和7年6月23日(月) 15時00分～17時00分
開催場所	萌え木ホール 3階 A会議室
出席者	<p>[委員(敬称略)]</p> <p>鈴木文彦、倉科大地、岩澤貴顕(代理出席)、富樫秀樹(代理出席)、三浦裕介、宮下誠(代理出席)、作井啓介、信山重広(代理出席)、平野景一、中山俊夫(代理出席)、小林聡(代理出席)、鈴木亜希子、並木正彦、青木亮、池内隆司、坂本敬、永田尚人、平野武、小田切美穂、紺野有佳、斎藤健夫、山本善万、兵頭友幸、若藤実、日野靖久</p> <p>[市事務局]渡邊健介(都市整備部交通対策課長)、千葉祐生(都市整備部交通対策課交通対策係長)、堀池浩二(都市整備部交通対策課交通対策係主査)、越聖子(都市整備部交通対策課交通対策係主任)、パシフィックコンサルタンツ(株)</p>
傍聴の可否	(可)・一部不可・不可
傍聴者数	1人
会議次第	<p>1 はじめに</p> <p>2 議題</p> <p>① 地域公共交通計画の策定について</p> <p>② 交通ネットワーク再編事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 報告事項</p> <p style="padding-left: 40px;">① 第二回及び第三回部会の報告</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 協議事項</p> <p style="padding-left: 40px;">① 市民及び利用者等への周知について</p> <p style="padding-left: 40px;">② 周知資料</p> <p style="padding-left: 40px;">③ C o C o バス運行ガイドラインについて</p> <p>3 報告</p> <p style="padding-left: 20px;">① 令和6年度C o C o バス利用実績等について(速報値)</p> <p style="padding-left: 20px;">② 令和6年度シェアサイクルの利用実績等について</p> <p>4 閉会</p> <p>[資料]</p> <p>資料1 地域公共交通計画の策定について</p> <p>資料2 第二回及び第三回部会の報告</p> <p>資料2別紙 再編検討の前提条件の再整理について</p> <p>資料3-1 市民及び利用者等への周知について</p> <p>資料3-2 周知資料</p> <p>資料4 C o C o バス運行ガイドラインについて</p> <p>資料5 令和6年度C o C o バス利用実績等について(速報値)</p> <p>資料6 令和6年度シェアサイクルの利用実績等について</p> <p>参考 C o C o バスだより(第9号、第10号)、 地域公共交通計画及び概要版、意見・提案シート、 席次表</p>

発言内容・
発言者名
(主な発言
要旨)

事務局：

ただいまから令和7年度第1回小金井市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。

—会議成立の報告—

市長：

皆さん、こんにちは。本日は大変ご多忙の中、ご出席をいただきましてまことにありがとうございます。

小金井市地域公共交通活性化協議会の委員の皆様におかれましては、日ごろより本市の公共交通にご尽力を賜り誠にありがとうございます。また、公共交通の担い手である各運行事業者の皆様、関係機関の皆様にはこの場を借りて感謝を申し上げます。ありがとうございます。

昨年度は、本協議会において非常にご熱心にご議論をいただき、答申を受け、公共交通のマスタープランである地域公共交通計画を策定したところでございます。

本計画の基本方針は、「誰もが自由に選択できる地域公共交通をみんなで守り育てるまち」としております。公募市民の皆様におかれましては、基本方針の実現に向け、市民の皆様を代表して積極的かつ活発なご議論をしていただけることを期待しております。

今年度は計画の初年度となりますので、本計画にのっとり適切に計画を推進できるよう取り組んでまいり所存でございます。

さて、地域公共交通を取り巻く環境につきましては、昨今、人口減少、少子化、高齢化、そして生活スタイルの多様化、さらには深刻な運転手不足の影響などもあり、本市においてもC○C○バスの運行終了の申し出を受け、交通ネットワークの再編が喫緊の課題となっているところでございます。他の自治体においては、自動運転やさまざまな交通資源、新たな手段・技術を活用したモビリティサービスの実証実験などさまざまな手法を使って全国各地で展開されております。本市においても、本市にふさわしい新たなモビリティサービスの活用に向けた検討の必要性も強く認識しているところであります。

まずもって本市といたしましては、市民の皆さんの日常的な公共交通手段として利用され親しまれておりますC○C○バスの運行継続に向けた検討並びに持続可能な地域公共交通の検討が今年度における最大の課題と捉えておりまして、昨年度より本協議会に部会を設置し、協議を進めていただいております。

委員の皆様におかれましては、地域公共交通の重要課題の解決に向け、ご審議をお願いしたく、よろしくようお願い申し上げます。市といたしましても、C○C○バスの運行継続に向け、関係機関の皆様と連携して全力で取り組んでまいりますので、本日はどうぞよろしくようお願い申し上げます。以上です。

—市長退席—

事務局：

今回任期が変わりまして初めての協議会というところで、会長、副会長の選任までの間、事務局で進行させていただきます。

—資料確認—

—前回会議録について—

—市事務局職員の紹介—

—委員の改選（委嘱状交付）—

—委員の紹介—

事務局：

次に、（５）会長、副会長の選任についてです。本協議会の条例第５条の規定に基づき選出を行います。どなたか選出方法についてご意見はございませんでしょうか。

坂本委員：

坂本です。これまでと同じように、委員の中からの指名推薦という方式によって行うのがよろしいかと考えますが、いかがでしょうか。

委員：

異議なし。

事務局：

ありがとうございます。ただいま指名推薦というご意見と、あと、異議なしというお声を頂戴いたしましたので、指名推薦にて行うということでよろしいでしょうか。

委員一同：

はい。

事務局：

ありがとうございます。それでは、会長について、どなたかご推薦いただけますでしょうか。

坂本委員：

会長には鈴木文彦さんを推薦します。これまでもいろいろ会を盛り立てて、また視野・知見豊かな方ですので、推薦したいと思

います。よろしく申し上げます。

事務局：

ありがとうございます。ただいま会長に鈴木文彦委員との推薦がございました。

お諮りいたします。会長に鈴木文彦さんを選出することにご異議ございませんでしょうか。

委員一同：

異議なし。

事務局：

ありがとうございます。それでは、ご異議なしと認めます。よって、鈴木文彦さんにご就任いただくことといたしました。

続きまして、副会長についてもどなたがご推薦いただけますでしょうか。

池内委員：

長年一番最初からやられている青木亮さんを推薦させていただきます。

事務局：

ありがとうございます。ただいま副会長には青木亮さんのご推薦がございました。

お諮りいたします。副会長に青木亮さんを選出することにご異議ございませんでしょうか。

委員一同：

異議なし。

事務局：

それでは、ご異議なしと認めます。よって、青木亮さんにご就任いただくことといたしました。

それでは、鈴木会長は席のご移動をお願いいたします。

それでは、ただいま選出されました鈴木会長から就任に当たってのご挨拶をお願いいたします。

会長：

それでは、改めまして皆さん、こんにちは。引き続き小金井市地域公共交通活性化協議会の会長を務めさせていただきます。

これまでも地域公共交通計画の策定、それから昨年からのＣ○Ｃ○バスの一部の運行終了という申し出の中でのＣ○Ｃ○バスを含めた再編、いろいろ皆さんと議論してまいりましたが、本当に市長もおっしゃっていたように、今年正念場かなという気がしますので、周りも暑くなりましたが、議論のほうも熱くやっ

きたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局：

ありがとうございます。次に青木副会長からもご挨拶をお願いいたします。

副会長：

副会長にただいまご指名いただきました青木と申します。貫井北町在住で、比較的小さいころからずっと住んでおりますので、ある程度地域のバスのことわかっているかなと思います。東京経済大学で交通論という科目を担当しておりますので、主に経済学ですとか経営論のほうから公共交通のことをやっております。鈴木会長のもとで少しでも市内の公共交通についてよりよいものにしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：

ありがとうございます。

—今任期中の会議録、意見提案シートの扱いについて—

会長：

それでは、ここから私のほうで進めさせていただきたいと思えます。

次第の2、議題に入ります。

まず、議題（1）地域公共交通計画の策定について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料1に沿って説明—

会長：

それでは、ただいまの説明について何かご意見、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

これまでに議論してきたことをまとめてきた話ですので、それほど皆さんも違和感はなかっただろうと思います。特にこれからどのように進めるかというあたりのところでもしご意見等があればお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

では、1つだけ。目標1のところは主に利用促進の側面と、それからサービスを提供するほうのいわば基盤整備的な部分になるかと思うのですが、その利用促進の中で、例えば施策1-4として公共交通の利用促進というのがあって、いろいろ書かれているわけですが、例えば小金井バスフェスは1回やって非常に好評で、次も続けられるかなと思ったら続かなかったのですが、この

辺、今後どのようにお考えでしょうか。

事務局：

交通対策課長です。今会長からご質問いただきましたバスフェスについては、今の運転手不足を市民の皆さんに周知できるいい機会だと考えております。また、私自身は前回小金井でやったときは参加できなかったのですが、先日、小平市のほうで同じようなイベントがあった際に私もお邪魔して様子を見させていただきました。市民の皆さん多くの方、そして事業者の皆さんも参加いただいております、大変盛り上がっているイベントだったと思いました。

我々としても、財政的にかなり厳しい部分という制約はある中ではございますが、改めて市民の皆さんに周知できるような形でイベントの開催を目指して取り組んでまいりたいと考えております。今後、開催できるように、まずは事務局としても目指したいと思っておりますので、現段階ではこのような内容で回答させていただきます。

会長：

ありがとうございました。ちなみに、今ご紹介のあった小平も私が焚きつけて始めたようなものなのですが、先日、小平市の小川の近くの新東京自動車教習所を使って、今日各社さんの中でも西武バスさん、京王バスさん、関東バスさんにご協力いただいて、3800人の来場者があったとこの間小平市のほうから聞いております。小金井市の場合、関心を持っている人がそれなりに多いということと、それから、前回やったときは場所的にもいい場所でやったものですから、そういう意味では多くの人に公共交通を知ってもらったり、触れてもらういい機会にはなるかなと思いますので、ぜひその辺は事務局に頑張っていただいてと思いますので、よろしく願いいたします。

ほかはいかがでしょうか。よろしければ、地域公共交通計画の策定についてのご報告は以上とさせていただきたいと思っております。

それでは、(2)公共交通ネットワーク再編事業について、いくつかに分かれておりますが、まず報告事項として①第2回及び第3回部会の報告があります。その報告事項の部分を事務局からお願いいたします。

事務局：

—資料2、資料2別紙に沿って説明—

会長：

それでは、今、第2回及び第3回の部会の報告について説明をいただきましたが、何かご質問、ご意見があればお願いしたいと

思います。

部会のほうもさらに突っ込んだ議論をしていくのはこれからになりますので、現段階ではこういう方向性でこれからの議論を進めていくというところの合意を得たいということで、その内容が今説明されたということで考えていただければよろしいかと思えます。

何かございますか。部会に出ていらっしゃった方が何人もいらっしゃるのでよろしいでしょうか。

それでは、この後、イの協議事項のほうで、今の部会の報告を踏まえて、①市民及び利用者等への周知について、②周知資料について、これらが協議事項という形になりますので、ここの説明をお願いしたいと思えます。

事務局：

—資料 3 - 1、資料 3 - 2 に沿って説明—

会長：

それでは、特に資料 3 - 2、こういった内容のものを周知材料としてさまざまな方法で周知をしていくということですが、内容、方法等についてご質問、ご意見があればお願いしたいと思います。

青木副会長：

資料 3 - 2 の裏面で、対象路線で C o C o バスと関野橋循環とその他があって、その他の小平団地や府中、調布に行く路線は対象外になりますと言いたいのだと思うのですが、ここまで省略されていると事情がわからない方は見たときにわからないかなというのと、個人的にはこれはなくてもいいのかなと思えます。多分全然知らない対象地域になっている方が見ると、同じ小金井市内なのに不公平ではないかと思われる可能性があるのと、逆に貫井北町とか南のほうで京王バスが走っているところの方に危機感を持ってもらおうとすると、もう少し書いていないと、自分のところは関係ないと思ってしまう気がします。なくてもいいか、書くのならもう少し細かく、わかる書き方のほうがいいかなという気がいたします。

会長：

事務局から何かありますか。

事務局：

なかなか紙面の都合上、もう少し細かく書くというのがこれ以上は難しいかなというところもありつつ、ただ、思いとしては全部の路線について検討はしたということは伝えておきたいという

ところがあったのでこういう表現になってはいるのですが。こうしたらいいとか、具体的なご意見があれば教えていただきたいと思えます。

青木副会長：

これ以外の路線についても京王バスで減便その他を行っております。すぐらいでいいのかなど。

基本的に部会でも下の図に載っているところ以外の小平団地に行く便をどうするか、府中に行く便をどうするかというのは検討対象でないと思うので。

池内委員：

貫井前原循環は既に路線バスと一体となった再編実施済み、それを赤にすればいいような気がします。既に何年か前にバスを減らしていますという赤にしてしまえばいいと思うんです。要は中町、東町、北東部循環だけが再編しているのではないですよということばは伝えたほうがいいような気がするんです。野川七軒家循環に関しては少人数のバスを使用しているのでこれ以上は減らせませんという感じでいいのかなと思えます。

青木さんが言われているのはその下のその他路線バスの部分ですよ。

青木副会長：

関野橋循環は今回対象になっているので、理由を市民の方には知らせたほうがいいと思うんです。採算性が悪いので、北東部循環の近くを通っているから一緒に考えましょうと。ただ、他の路線は今回は対象にしないのと、もともとこれは京王バスさんがやっておられる路線だから、減便するかどうかは京王バスの判断ですよ。

池内委員：

その他の路線に関しては市が減便したように誤解されないように。C o C oバスの再編とリンクはしているのでしょうけれども。その他は要らないと思えます。

事務局：

資料3-2につきましては、もともと我々の思いとして、東町循環、中町循環がなくなると思っている市民の方が多いと認識してまいりまして、まずはそここのところの誤解を解きたいというか、部会の中で会長に中心になっていただいて市民の皆さん、事業者の皆さんにも協力していただきながらしっかりと検討しています。ということばを伝えたいというのが我々の思いでした。

今、説明があったように、我々は対象路線を考える上で、C o C oバスだけに限らず、小金井を走っている路線バス、まずは全部を確認をしたと。その上で可能性があるところを抽出していま

すという考え方を伝えたかったということで、今の段階ですとその他というところでほかのバスについてもちゃんと検討しましたというところを説明したいと思って載せております。

今青木副会長からご意見をいただきましたので、ここの書き方をどうするかという部分については、少し事務局と会長預かりというところで整理させていただければと思います。本当に部会で熱心に議論していただいていると認識しており、その部分をまず市民の皆さんにもしっかりと伝えたいという思いでこれを作っているということです。

もう1点、補足ですが、9月の協議会へは、一旦部会のほうでしっかりと検討させていただいたものをお示ししたいというスケジュールで考えております。

坂本委員：

今説明もありましたが、私も関野橋循環はC○C○バスの近辺を通っていることと、京王バスさんとして採算性が問題だという両面からこの路線とC○C○バスを含めたて削減しなければいけないと私は理解しています。

ですから、この表に、京王バスさんからの運転手不足に起因するところで、C○C○バスガイドラインをできるだけ守りつつ、なおかつ交通不便地域を出さないで、路線バスも併せて再編しないと運転手さんの3.6人が削減できないから、全路線についても検証して、関野橋循環を検討の対象にすることが一番解決の早道というか、1つのルートなんだということに行き着いたということ、書く書かないは別にして、地域の皆さんに説明するときには絶対に言わなければいけないことですよね。でも人間は聞いてすぐわからないので、何らかの方法で既に減便済みとか、こういう書き方ではなくて、すべての京王バスさんの路線について減便も含めて検討して、既に減便をやっているところがありますと。その中で関野橋循環は今はまだ今までどおり動いているんだけど、今回はC○C○バスと近接しているし、市全体をみてC○C○バス再編をやらなければいけないので、ここを合わせて検討しますということで、何らかの表示は僕はしたほうがいいと思います。ないと、結局何でここここだけと逆に質問が出たときに、その説明だけで大変になるから、前もっての説明をむしろ積極的にやったほうがいいと思います。プロセスを経ているんだということ。

会長：

その他のところの書き方の問題だと思うんです。その他のところのこの書き方だと多分イメージができない。だから、その他という分け方もどうなのかというのはあるけれども、路線バス全体を眺めてみたときにこういう状況にある中で、今坂本さんがおっしゃったような流れで関野橋循環はこういう条件の中で考えるとC○C○バスと一緒に再編を考えることによって全体として2台

3.6 人を出せるのではないか。そういう形で検討しているんだということがわかるようにすればいいわけで、そういう意味では、私が思ったのは「その他」という項目のところの書き方を工夫するのと、もう1つはその内容にある2つのポツの書き方は変えたほうがいいと思いました。

坂本委員：

今会長がおっしゃったように、私は、路線バスについては京王さんはこういうことをいろいろ検討して、こういうことを既に実施しております。なおかつ、関野橋循環についても検討の対象にしたところ、C○C○バスの合理化と両方合わせて、ゾーンで検討したほうがいいということになったというふうに書けばいいのではないかと思うんです。これ、その他で取ってつけたように書くからいけない。路線バスについても、ほかのバス会社も同じだと思うのですが、合理化の検討をずっとやってきて、既に全路線についてやってきた。その中で関野橋循環についても今般これだけの削減をするときに、ここのゾーンで検討したほうが、利便性はちょっと悪くなるかもしれないけれど、オールオアナッシングみたいにならないですむ可能性が一番高いということでこれを選んだと。こういうふうに持っていければいいのではないかと思うんです。

三浦委員：

京王バスの三浦です。その他の書き方の問題だと自分も思います。今回関野橋循環がこういう形で挙がっているのは、C○C○バスの近くを運行しているというところが最大のポイントだと思います。さらに、今もかなりのボリュームで走っている。この2点が揃っているから再編の対象になっているということなので、その他のところにおける分析としては、京王バスのその他の路線についてはC○C○バスの路線の近くをそもそも運行していない、あるいは既に大幅な減便をしていて再編対象となり得ない、この2点で要件は消化するのではないかなど。

逆にうちのほかの路線がどうかということに対しては、表面のほうでC○C○バスを運行する京王バスもさまざまな工夫をしているというところで、不採算路線であったり、深夜帯のダイヤを縮小・廃止している、こういったところでうちのほうでできることはやっているということは要件を消化していますので、裏面のその部分ではそういったところは触れなくてもいいのではないかと思います。

池内委員：

目的を検討しているんですよ、廃止決定ではないですよということを一番に訴えたいわけじゃないですか。もう1つは、3.6人の運転手さんを確保するためにこの再編を考えていますという、それを同時に言うかどうかという部分ですよ。それを入れ

るのであればその部分をきっちりすべての再編をすることによって中町、東町循環の運転手さんを確保しようとしていますというメッセージが伝わればいいかなと思います。その上での関野橋循環だったりという部分だと思います。ほかの路線はもう削れないということですよ。

斎藤委員：

資料3-2は町会の回覧で配るという話ですよ。自分は貫井北で町会の役員をやっているのですが、回覧を作ったりするんですね。そのときに心がけているのは、ご高齢の方が町内に多かったりするので、小さい字だと読んでくれないと言われるんです。なので、字は大きくしたほうがいいかなということと、グラフはご高齢の方は読みにくいと思うんです。この辺を、もちろんストーリーを作る上では必要だと思うのですが、中の文字の入れ方とか、例えば行間をもう少しあけるとか、若干そういう工夫をしてもらえれば回覧を回す人間としては読んでもらいやすくなるのかなという気がいたします。

事務局：

資料3-2の裏面の左上の分析の部分はいろいろなご意見を出していただきましたので、そちらを踏まえて会長と相談して、もう少し言いたいことが伝わるような表現に変えていきたいと思えます。

文字は私どもも承知しているところなのですが、これよりも大きな文字となると情報量をもう少し減らさなくてはならない。どの情報を減らすんだというところがすごく悩ましいところでして、考えてみます。

斎藤委員：

資料3-2の裏面の例えば水色の文字は見にくいです。これを濃くするとか、そういうことだけでも違うと思います。

事務局：

回覧板はA3判でも回せますか。

斎藤委員：

A3だと折りたたまないで回せないなので、回すときに手間がかかります。

もう1つは、回覧だけではなくて、掲示板にも貼るんですね。その場合、A3だとスペースの問題もあってちょっと厳しいかなというのが正直ございます。

事務局：

わかりました。ありがとうございます。

斎藤委員：

厳しいと今申し上げたのですが、もしどうしても必要であれば回覧板オンリーということで、一般の家に回すものはA4、回覧板のやつはA3と分けてやることもやれないことはないです。ただ、全般的には掲示板のスペースが限られているので、できればA4が望ましいというのが掲示板を管理している側の意見です。

池内委員：

自治会だよりはA3で来ていますよね。折りたたんで、いろいろな情報が入っている。

青木副会長：

ページ数は増やせるのですか。A4、2枚にはできるのですか。A4、2枚にすると、表面の上と下でやっつて、裏も上と下で2枚になりますよね。そうすると字がでかいですが。編集し直しになってしまいますが、できるのですか。

事務局：

編集はいいのですが、4枚にわたったものを皆さんが読んでいただけるかなというところもあるかなと。どうですか。もし回ってきたときに、4枚になっていると。難しいですかね。

永田委員：

両面1枚のほうがいい。文字はゴシック体の太字にする方がまだ見やすいと思います。

事務局：

フォントですね。

永田委員：

明朝だと難しいかなと。言葉を短縮してもいいから、訴えるような方式に変えたほうが、そうすると文字も多分大きくできるのではないか。

言いたいことというのは、結局裏面の図ですよね。ここを検討しているんだよということが言いたいわけなので、いろいろ書かれています、四角の中の文字も自分たちが今までやってきたようなことをちゃんと伝える、そういうスタンスで書かれたほうがいいのかと思います。

事務局：

今皆さんからさまざまな意見をいただきましたので、基本的に記載する内容についてはこちらに書いたものをもとにして、もう少しわかりやすくなる書き方ですとか、デザイン、フォント、そこら辺は受託者さんと協力しつつ、最終形についてはメールでお送りできる方にはメールでお送りさせていただいて、それ以外の

方は郵便でお送りさせていただくという形によろしいですか。

会長：

多分文字そのものを大きくするというのはなかなか難しいかもしれないですが、フォント、あるいは色の使い方でもう少し見えるようにすることはできると思います。

平野委員：

回覧板で皆さんおっしゃるには、私の班は19人の世帯なんです。月に1回回覧板が回ってくるのですが、皆さん苦情が多いのは、白黒で全部来るんです。一番不人気なのが公民館だよりです。小さな字で、何を書いてあるか。ページ数も5～6ページで、皆さんおっしゃるには、変わりばえがないんです。そういった意味で、字をもう少し大きくしてやられるとみんな、何だろうと読まれると思うんです。

青木副会長：

町会の回覧板というのは、市内全部の町会が対象になるのですか。

事務局：

全部にお配りしようと思っています。

青木副会長：

そうしたら、武蔵小金井と東小金井のところに駅を入れておいていただいたほうが良いと思います。多分貫井北町とか貫井南町だと北東部循環や東町循環がどこを走っているかわからない気がします。

事務局：

わかりました。

会長：

下に路線図を引いてあるのだらうと思いますが、中央線と2つの駅については入れたほうがいいかなと思います。

青木副会長：

見やすくしていただかないと場合によっては混乱してしまうので。

小田切委員：

字を大きくするのに、協議会委員の写真はなくてもいいのかなと。なくせばもっと字も大きくできるのではないかなと思います。ほかの市民の方は写真に興味もないのかな。そういうのを抜いて字を大きくしてあげたほうがいいのではないかな。

会長：

そうですね。この写真はなくてもいいです。

事務局：

こういう方々でしっかり議論していますよというのをアピールしたいという意図でしたが、わかりました。

会長：

可能な限り字を大きくすることと、それから、最初に話題になった路線バスの分析の部分については、私の考えですが、その他というか、路線バス全体としての評価を先に持ってきて、それで関野橋循環はその中でこういう状況にあるという形で整理をするかなど。今考えたのですが。

この辺、時間的なこともありますので、そこの部分についてはお任せをいただいて、最終形を皆さんに送付するような形でよろしいでしょうか。

あとは、今ご意見をいただいたあたりを生かしながら、これを作っていくということにしたいと思います。

ほかに何かご意見はございますか。

坂本委員：

答えられる範囲でいいのですが、こういうC o C oバスの再編の動きがあって、市役所というか、事務局のほうに、どういう検討をしているのか、今どうなっているのか、と市民ないしは市議会議員の方々から、具体的な問い合わせというのは今までありますか。

事務局：

市民や窓口の方からの問い合わせは、まだそんなに多くはないですが、あります。お電話が来ることもあれば、窓口に来られて聞かれることもあります。

お伝えできる状況のことをお答えをしているところです。

あとは、回数券を売っていただいているお店でもそういった話を聞かれたということも聞いております。

坂本委員：

どんな話が多いんですか。

事務局：

やはり中町がなくなるとか、東町がなくなるとか、なくなってしまうと思っている問い合わせが多いです。どうなるのかとか、先のことに関する問い合わせはそんなに多くなかったかなと記憶しています。

坂本委員：

では、早く7月の現況報告をちゃんとやったほうがいいですね。

事務局：

市議会での協議の状況ですが、今まさに第2回定例会が行われておりまして、一般質問で1名の議員の方から今回の再編に関するご質問をいただいております。こちらについては、現在部会において熱心に協議をいただいているという形でお答えをしております。

また、先日、建設環境委員会がありまして、主に我々交通対策課の所掌になっている委員会なのですが、C o C oバスについてご質問いただいております。我々のほうからも今回行政報告という形で市からの報告をさせていただいております。その中では、一般質問と同様の形なのですが、中町と東町を終了しないように現在部会において検討いただいていること、それから現在対象路線は中町循環、東町循環、北東部循環、関野橋循環、この4路線を対象に検討しているということは報告しております。

山本委員：

障害者に対するPRというか、そういう面が全くないんですね。実際には細かくいっぱい載っているのですが絶対に読みません。そのダイジェスト版というか、1枚ではなくて、簡易版で明確なポイント内容をわかりやすく、詳細版は詳しくはこちらでと、そのようにしてもらわないと、今日の資料も送ってもらってから、週2回、30分の代読をお願いしていますが、間に合いません。到底読み切れません。メールを送ってもらっていますから、読み上げメールがありますからまだできるのですが、そうではない場合は、今日も半分しかヘルパーさんに読んでもらえないんですね。

だから、バリアフリー、障害のある人もない人もという、そういう立派な計画があるけれど、こういうところについてはまだまだ配慮がされていないと思います。少しでもそういう配慮をされて対応いただけたらと思います。

私はほとんど町内会との関連はなかったのですが、自治会の防災の関係で私にはどこどこの誰々さんが安否確認に来るといような、私が住んでいる貫井南町はそういうシステムのモデル地区になったものですから、助けてもらうのに町内会に入っていないというのはちょっとこれも自分としては引かかるので、再度町内会に入りました。その代わり、当番で集金したり回覧板を回したりするのは勘弁していただいております。そういうことで、障害者に対する配慮をもう少しお願いできたらと思います。

事務局：

ご意見ありがとうございます。どういった形で障害のある方た

ちに情報を届けられるかについては、自立生活支援課とも相談させていただきながら、より多くの皆さんに伝えられるような形で考えたいと思います。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、一応資料3-2をベースに、今日ご意見をいただいたもので少し手を入れさせていただいた上で、こういった周知資料を7月に自治会町会に配布するということ、それからほかの媒体、資料3-1の3の周知の方法のあたりでいろいろな媒体が紹介されていますが、こういったものを活用して市民の方にお知らせしていくということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、少し修正したものについて、最終的なものについては、先ほど事務局から話があったように、皆さんにメールないし郵送でお送りさせていただくという形にしたいと思います。

それでは、次の議題に移ります。議題の(3)C o C oバス運行ガイドラインについて、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料4に沿って説明—

会長：

ただいまのご説明について何かご質問、ご意見はございますか。要するに今年度に決めたところであまり意味がないという話です。だから、今年度は方向性を決めることにしましょうという話です。よろしいでしょうか。

では、その方向性で進めたいと思います。ですから、方向性を決定するということについては今後の協議会の中で議題として取り上げさせていただくことがあろうかと思います。

それでは、次の3の報告に入ります。

まず①令和6年度C o C oバス利用実績等の速報値について事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料5に沿って説明—

会長：

ただいまのC o C oバス利用実績等の速報値の説明で何かご質問等がありますか。

青木副会長：

利用者数を見ていると、コロナの関係で一時落ちていて、それが令和6年度にかなり戻ってきているのですが、東町循環に関しては戻りが悪いというか、むしろ路線を再編しているので増える要素はあるはずなのですが、なぜあまり増えていないのか。思い当たるふしがあれば教えていただけますでしょうか。

事務局：

令和6年度については速報値ですので分析はこれからというところになっております。

ただ、おっしゃるとおり、令和5年、6年、ほかの路線と比べると戻りが悪いというところの印象があるかと思います。

はっきりした理由は私どももまだつかめていないところではあります。市民の方からのご意見、大多数かどうかはわかりませんが、時刻表が30分間隔から35分間隔になってわかりにくいとか、35分間隔になったことによって本数がそもそも再編前よりは減っているというのも要因の1つかなとは思っています。

青木副会長：

わかりました。どうもありがとうございます。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、もう1つの報告で、令和6年度シェアサイクルの利用実績等について。

事務局：

—資料6に沿って説明—

会長：

何かご質問はございますか。よろしいですか。よろしければ、こういう形で報告をいただきました。

以上で本日の会議内容の予定していたものはすべて終了しますが、皆さんから全体を通して、あるいは報告したいことがあればお受けしますが、よろしいですか。

平野委員：

要望ですが、C o C oバスだよりの5月発行にある、車内の停名表示器が変わりました。カラフルになって非常にいいのですが、北東部循環に乗ると皆さんおっしゃるには、時刻（時計）をここに表示できないか。一般のバスと違ってC o C oバスの方というのは携帯を持っている方が少ないんです。聞かれるのは、今何時ですかと聞かれるのですが、すみません、携帯を持っていませんからと。そうすると運転手さんが今10時50分ですよ

と。乗っておられる方は病院に行くとか、いろいろな方がおられるんですね。時間を気にするのですが、表示板はカラフルで見やすくなったのですが、時刻がない。何とかつけてもらえないだろうかという要望がありました。

三浦委員：

ご意見をありがとうございます。そういったご要望があるというのは盲点でした。確かに前は時刻の表示があったんですよね。それがこういうタイプになってなくなってしまったというところではご意見として承ります。全社で統一的な仕様になっているものですから早急の対応というのは難しいのですが、今後仕様変更のときに検討させていただければと思います。ありがとうございます。

会長：

ほかにいかがですか。

それでは、今日新たな任期でスタートしたわけですが、この先、部会等で具体的な議論をさせていただきます。いろいろご協力いただくことがあると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

では、事務局にお返ししたいと思います。

事務局：

—事務連絡—

事務局：

本日はどうもありがとうございました。

以上